

令和3年

総務委員会

2月24日

豊明市議会

# 総務委員会会議録

令和3年2月24日

午前11時40分 開会

午前11時54分 閉会

## 1. 出席委員

委員長	近藤郁子	副委員長	服部龍一
委員	中村めぐみ	委員	宮本英彦
議長	毛受明宏		

## 2. 欠席委員

委員 近藤千鶴

## 3. 職務のため出席した議会事務局職員の職、氏名

議会事務局長	鈴木美智雄	議事課長	塚谷友昭
議事担当係長	寺島慎二	議事課主事	松林淳

## 4. 説明のため出席した者の職、氏名

市長	小浮正典	副市長	土屋正典
行政経営部長	藤井和久	教育部長	小串真美
行政経営部次長	古田範明	財政課長	萩野昭久
学校教育課長	高木安司	公共施設管理室長	中田勝次

## 5. 傍聴議員

堀内ちほ	いとうひろし	林ゆきひろ	ごとう学
近藤ひろひで	三浦桂司	青木亮	郷右近修
清水義昭	一色美智子	鵜飼貞雄	月岡修一
ふじえ真理子	近藤善人		

## 6. 傍聴者

なし

午前11時40分開会

○総務委員長（近藤郁子議員） ただいまより総務委員会を開会いたします。

なお、近藤千鶴委員より本日欠席の連絡がありましたので、御報告いたします。

会議に先立ちまして、市長より御挨拶をお願いいたします。

小浮市長。

○市長（小浮正典君） 皆様、お疲れさまでございます。

本総務委員会に付託されております議案は議案第14号の補正予算案1件でございます。慎重なる審査をいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

以上です。

○総務委員長（近藤郁子議員） ありがとうございます。

続いて、議長より御挨拶願います。

○議長（毛受明宏議員） 皆様、お疲れさまです。

総務委員会の議題は1件、一般会計補正予算になりますので、慎重審査よろしく願いいたします。

○総務委員長（近藤郁子議員） ありがとうございます。

これより会議を開きます。

お諮りいたします。市長は自席待機といたしたいが御異議ございませんか。

（異議なしの声あり）

○総務委員長（近藤郁子議員） 異議なしと認めます。よって、市長は退席を願います。

なお、市長におかれましては、答弁を求める機会がある場合には御出席いただきますので、御承知おきを願います。

（市長退席をなす）

○総務委員長（近藤郁子議員） 本日の傍聴につきましては、申合せに従い15名以内とし、委員長において一般傍聴者入室を許可いたします。

本日の議事につきましては、本委員会に付託されました案件につきまして、お手元に配付いたしました議題に従い会議を進めます。

なお、当局におかれましては、反問権を行使される場合は意思表示を明確にされ、論点を整理して反問をされますようお願いいたします。また、反問を終了するときも意思表示を明確にされるようお願いいたします。

それでは、議案第14号 令和2年度豊明市一般会計補正予算（第19号）についてのうち、本委員会所管部分についてを議題といたします。

本案につきまして、理事者の説明を求めます。

中田公共施設管理室長。

○公共施設管理室長（中田勝次君） それでは、公共施設管理室所管の補正予算について御説明いたします。

補正予算書の歳出予算7ページ、8ページをお開きください。

上段、2款 総務費、1項7目、4 公共施設管理事業、右の説明欄1行目、工事設計委託料705万1,000円の増は、大宮小学校及び豊明小学校のエレベーター更新並びに大宮小学校の校舎改修などの設計業務委託でございます。

2行目、双峰小学校トイレ改修工事費1,667万6,000円は、双峰小学校管理棟中棟でございます、1階の東側トイレの洋式化改修化に基づく改修工事でございます。

引き続き、補正予算書4ページをお開きください。

第2表 繰越明許費の追加補正でございます。

先ほども述べました委託料及び工事費、2事業いずれにつきましても、年度内の完了が困難であるため、全額繰越しとして計上させていただきました。なお、3月議会初日における即決を求める理由につきましては、工事完了時期の関連で、早期議決を求めるものでございますので、御審議のほどよろしくお願い申し上げます。

以上で、公共施設管理室所管分の説明を終わります。

○総務委員長（近藤郁子議員） 萩野財政課長。

○財政課長（萩野昭久君） 続いて、財政課所管部分について御説明申し上げます。

5ページ、6ページをお願いいたします。

歳入下段の19款 繰越金、1項1目の前年度繰越金2,372万7,000円は、このたびの補正予算の一般財源となるものです。

以上で説明を終わります。

○総務委員長（近藤郁子議員） 理事者の説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

宮本委員。

○宮本英彦委員 工事設計委託の内容が大宮小のプレハブと大宮小のエレベーターと豊明小のエレベーターと、こういう内容でよかったですでしょうか。

○総務委員長（近藤郁子議員） 答弁願います。

高木学校教育課長。

○学校教育課長（高木安司君） そのとおりでございます。

○総務委員長（近藤郁子議員） 宮本委員。

○宮本英彦委員 それぞれの委託の金額を教えてください。

○総務委員長（近藤郁子議員） 答弁願います。

中田公共施設管理室長。

○公共施設管理室長（中田勝次君） よろしいでしょうか。

金額などの詳細につきましては、まだ発注前のために詳細は控えさせていただきますが、エレベーターの更新工事、これ2校、合計なんですけど、これで約、全体の4分の1程度、大宮小学校の仮設校舎関連、その前の準備、あとは地質調査を含めたものが4分の3程度でございます。

以上です。

○総務委員長（近藤郁子議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 大宮小のプレハブの仮設ですけれど、先ほどの本会議質疑のやり取りを聞いていますと、2教室ということの説明だったと思うんですけど、特別支援の子どもが増えるということで、急がなきゃいけないということなんですけど、子どもは何人増えるんですか。

○総務委員長（近藤郁子議員） 答弁……。よろしいですか。

（いいですの声あり）

○総務委員長（近藤郁子議員） 答弁願います。

高木学校教育課長。

○学校教育課長（高木安司君） 今年、8人増える予定だったんですけど、支援会議等を通して、5人増えることになっております。

以上です。

○総務委員長（近藤郁子議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 5人増えるということで、プレハブ教室、2教室が必要だという、そういう理由になるのでしょうか。

○総務委員長（近藤郁子議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 当然、今から設計へ入って工事ですので、とても今回の増員には間に合いません。今回は、資材室を教室に改造して1教室、造ります。そこに5人の増員分を収容します。収容というか入っていただきます。今回2教室を出させてもらう大きな理由としましては、もう既に、教室が既に全部いっぱいございまして、今後、

支援クラス等が増えた場合に使える教室が全くありません。今回、2教室を出ささせていただくことによって、ここに相談室ですとかほかのそういった部屋を入れます。空いたところを一応余裕として持っておりまして、支援クラスが増えた場合はそこを使うという形を考えております。

以上です。

○総務委員長（近藤郁子議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 ということは、特別支援の子どもが急激に増えるということよりは、どちらかといえば、これをプレハブの設計をする理由というのは、増えることによって教室全体がもう全てが満杯になると。だから、そういうことで、必要最小限の教室があと2教室、最低限2教室、プレハブで造ると、こういう理解でよろしいのでしょうか。

○総務委員長（近藤郁子議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 間接的にはそういうことになります。

直接的には、先ほど御説明しましたとおり、ほかの部屋を出すんですけど、そこを支援室で使えるようにということを考えております。

以上です。

○総務委員長（近藤郁子議員） ほかにございませんか。

中村委員。

○中村めぐみ委員 プレハブを建てる場所が、運動場側のところに仮設を建てるということだったんですけど、もともと大宮小は増築ができるスペースがあったかと思うんですけど、その場所じゃないのはどうしてでしょう。

○総務委員長（近藤郁子議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 建てれる場所はあるんですが、そこは今農園として使っておったりとか、駐車場として使っております。そこにプレハブを建てるとなると、今度工事するためにプールを取り壊したりですとか、例えば舗装を剥がすですとか、また余分な経費がかかりますので、今回あまり経費をかけないためにグラウンドの隅にということを考えております。

以上です。

○総務委員長（近藤郁子議員） ほかにございませんか。

以上で……。

中村委員。

○中村めぐみ委員 特別支援教室のほうで対応を急ぐということで、プレハブを造っても令和5年の4月から開始ということなんですけど、プレハブではなくって鉄筋コンクリートとか鉄骨で造ると、この2年では造ることができない、同じようなスタートが切れないという認識でしょうか。

○総務委員長（近藤郁子議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 当然、鉄筋で造るとなると、今のグラウンドに造るのはどうかという議論がありますが、本来ですと、先ほど委員が言われるように、駐車場の位置か農園の位置に造ることになります。そうすると、先ほども御説明したとおり、プールの撤去とかそういった問題が入りますので、また一、二年延びるかと思います。

以上です。

○総務委員長（近藤郁子議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 双峰小のトイレ改修ですけれど、小学校のトイレ改修はもう全てが終わっておると思うんですけれど、改めて、急にこれ、トイレ改修しなければいけなくなった理由は何でしょうか。

○総務委員長（近藤郁子議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） もともと、今、委員言われるとおり、普通教室に対してはトイレ工事、終わっております。ただ、今回のやる場所は管理棟の真ん中の位置にありまして、従来ですと普通教室として使っていないところです。今回、改修工事を行っておりますが、その中で支援クラスのほうに近いところのトイレになります。支援クラスに対しては多目的トイレがあるんですけど、今後、これも先ほどの大宮と同じように、支援クラスまたは疑いのある子が非常に多くなっております。そうするとまた、今説明しました支援クラスを、教室数からいくと半分に割って使うものですから、倍収容できることにはなると思うんですけど、その子たちが使えるように、今回、工事を上げさせていただきました。

以上です。

○総務委員長（近藤郁子議員） ほかにございませんか。

中村委員。

○中村めぐみ委員 私もプレハブのほうなんですけれども、プレハブ、5年のリースのプ

レハブということで、これを建てるまで、またその5年以内にもし大きく関わる事故があった場合というのはどうなるのでしょうか。

○総務委員長（近藤郁子議員） 関わる事故。すみません。もう一度質問……。分かりますか。

答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 大きな変化があった場合というふうに捉えておりますが、こちらとしては、今のところ、人口統計を見ますと、動向を見ますと、今の教室数で足りていますので、問題なのは支援クラスだけじゃないかなというふうに考えております。

以上です。

○総務委員長（近藤郁子議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○総務委員長（近藤郁子議員） 以上で質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手願います。

宮本委員。

○宮本英彦委員 議案の第14号の補正予算、総務に関わるところでですけど、賛成の立場で討論します。

とりわけ大宮小のプレハブの件で出て、いろんな御意見、あるんだと思いますけれど、私、いわゆる支援の必要な子どもたちが増えるためにその措置としてということですけど、直接的にそのプレハブを使われるというのは、どちらか言えば、予備教室というか相談室とかそういう類いだと思います。

一方、間米の開発のことを考えると、人数的にどのようなことになるか分からないという今の状況の中では、当面对応する措置としてはプレハブでいいと思います。ここにやたらというか、きちっと将来的な人口が見えない中でプレハブを造ったら、またその後大変だと思います。

そういう点で、プレハブを含む工事設計委託及び双峰小、この補正予算については賛成とします。

○総務委員長（近藤郁子議員） ほかにございませんか。

中村委員。

○中村めぐみ委員 一応賛成の立場で。特別支援教室のためにプレハブで今回2教室を増やすというところは理解をするんですけども、一応、今後、長期的な視点からどの工法が費用対効果の面で優れているかというところはまだまだしっかり検討を重ねていってほ

しいかなというところはありません。

以上です。

○総務委員長（近藤郁子議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○総務委員長（近藤郁子議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

議案第14号のうち、本委員会所管部分については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

（異議なしの声あり）

○総務委員長（近藤郁子議員） 御異議なしと認めます。よって、議案第14号のうち、本委員会所管部分については、全会一致により原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、本委員会に付託されました案件の審査は終了いたしました。

お諮りいたします。委員会報告書につきましては私に御一任願いますでしょうか。

（異議なしの声あり）

○総務委員長（近藤郁子議員） ありがとうございます。

委員会報告書につきましては例に従い提出をさせていただきます。

慎重な御審査、御苦労さまでした。これにて総務委員会を閉会いたします。

午前11時54分閉会